



① 次の問いに答えなさい。

[1点×17=17点]

- (1) 江戸時代の中ごろに発達した、問屋商人が原料や道具を農民に貸して生産させ、できた製品を買いとるしくみを何というか。
- (2) 8代将軍徳川吉宗が行った幕政の改革を何というか。➡武士に武芸や質素・儉約を奨励し、新田開発や民衆の意見を聞くための目安箱の設置などを行った。
- (3) 株仲間を奨励して商人から税を取るなど、積極的な財政政策を行った18世紀後半の老中はだれか。➡わいろの横行などにより退いた。
- (4) 江戸の湯島に孔子を祀る聖堂を建てて儒教(儒学)を奨励したことや、動物愛護の「生類憐みの令」で知られる江戸幕府の5代将軍はだれか。
- (5) 18世紀後半以降各地でおこるようになった、都市の貧しい人々による暴動を何というか。➡米屋や質屋、大商人などがおそわれた。
- (6) 1837年、貧しい人々を救おうとして大阪で乱をおこした、もと大阪町奉行所の役人で、陽明学者でもあった人物はだれか。
- (7) 19世紀に始まった、問屋商人が資本を出して働く人を作業場に集め、分業と協業によって生産を進めるしくみを何というか。
- (8) 徳川吉宗が作らせた、裁判の基準となる法律を何というか。➡過去の判例をもとに、刑罰の基準などを定めた。
- (9) 義理と人情の世界に生きる町人の姿を、「曾根崎心中」など人形浄瑠璃や歌舞伎の台本にえがいた人物はだれか。
- (10) 「日本永代蔵」など、浮世草子と呼ばれる小説で町人の生活や考えを生き生きとえがいた人物はだれか。
- (11) 連歌からおこった俳諧を芸術として大成した、紀行文「奥の細道」の作者として知られる人物はだれか。
- (12) 白河藩(福島県)の藩主から老中となった松平定信が、1787年に始めた幕政の改革は、何と呼ばれるか。➡江戸の昌平坂学問所で朱子学以外の講義を禁止した。商品作物の栽培を制限し、飢饉に備えて米をたくわえさせた。
- (13) 17世紀末から18世紀初めにかけて、京都や大阪など上方を中心に栄えた町人文化を何というか。
- (14) 江戸の日本橋を起点とする、東海道・中山道・甲州道中・日光道中・奥州道中の5つの街道を、合わせて何というか。
- (15) 江戸時代に流行した、庶民の生活や風景などをえがいた絵画を何というか。➡菱川師宣が大成した絵画で、肉筆画と版画がある。
- (16) 孔子の教えをもとにした儒教(儒学)のうち、特に江戸幕府が奨励したのは何という学派か。➡上下関係を重視する学問。
- (17) 江戸時代の百姓が、重い年貢や村役人の不正、専売制などに反対して、集団でおこした反乱を何というか。

問屋制家内工業

享保の改革

田沼意次

徳川綱吉

打ちこわし

大塩平八郎

工場制手工業〔マニユファクチュア〕

公事方御定書

近松門左衛門

井原西鶴

松尾芭蕉

寛政の改革

元禄文化

五街道

浮世絵

朱子学

百姓一揆